

歳出予算事業概要書

款 項 目	06 農林水産業費 01 農業費 03 農業振興費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード 2501000000	所属課名 農林課	内線番号																																																																							
					うち復活額	一般財源																																																																											
大 事 業	053 遊休農地解消推進事業	853	853	828	828	0	0																																																																										
中 事 業	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 計 画	部	活力みなぎる米子	実施計画計上額																																																																						
小 事 業	00								章	『産業』がいきいき																																																																							
細 事 業	0								節	地域の活力を生み出す産業のまちづ																																																																							
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="5">節</th> <th colspan="6">本年度の財源内訳</th> </tr> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th colspan="3">金額</th> <th>財源</th> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>節</th> <th>細節</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9</td> <td>旅費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>需用費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>役務費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>19</td> <td>負担金補助及び交付</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>828</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>											節					本年度の財源内訳						区分		金額			財源	款	項	目	節	細節	金額	9	旅費											11	需用費											12	役務費											19	負担金補助及び交付									828	
節					本年度の財源内訳																																																																												
区分		金額			財源	款	項	目	節	細節	金額																																																																						
9	旅費																																																																																
11	需用費																																																																																
12	役務費																																																																																
19	負担金補助及び交付									828																																																																							
<p>1. 事業の概要と必要性</p> <p>事業の概要 1. 遊休農地解消圃場への経費補助 2. 遊休農地対策協議会での解消策の検討、実践</p> <p>事業効果 耕作放棄された農地を借り受ける農業者を支援するなどの事業を行うことにより、遊休農地の解消、輪作体系の推進、農業者の経営規模拡大といった効果が期待できる。</p>																																																																																	
2. 根拠法令 米子市遊休農地解消推進事業補助金交付要綱																																																																																	
3. 用地の状況																																																																																	
4. 基本計画との関連																																																																																	
5. 本年度の計画効果																																																																																	
<p>(1) 事業計画</p> <p>米子市遊休農地対策協議会の開催 事務経費1団体当り18,000円×6地区 = 108,000円 遊休農地解消事業による遊休農地の耕起 遊休農地解消経費24,000円/10a×300a = 720,000円</p>																																																																																	
6. 財源の説明																																																																																	
1 他市の状況 本市単独事業である。																																																																																	
目的別 性質別																																																																																	

歳出予算事業概要書

款	06 農林水産業費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	2501000000					
項	01 農業費							所属課名	農林課					
目	03 農業振興費	18,669	16,408	9,417	9,417	0	0	内線番号						
大事業	080 就農基盤整備事業							実施 計 画	部	活力みなぎる米子	実施計画計上額			
中事業	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『産業』がいきいき				
小事業	00		0	6,277	0	0	3,140		節	地域の活力を生み出す産業のまちづ				
細事業	0		0	0	0	0	0		細節	活力ある農業・農村づくり				
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳						
事業の概要 将来、効率的かつ安定的な農業経営の担い手となるのに相応しい青年等の就農を促進し自立を支援するため、新規就農者（認定就農者）の就農初期に係る機械・施設を整備する費用を助成し負担の軽減を図る。 必要性 農業の担い手不足・後継者不足は、市及び全国的にも深刻な問題であり、担い手の確保、新規就農者に対する官民一体による指導・情報提供・経営指導を含めた総合的な支援体制を図る必要がある。					区分		金額	財源	款	項	目	節	細節	金額
2. 根拠法令 青年等の就農促進のための資金の貸付け等に関する特別措置法、県就農基盤整備事業要綱					19	負担金補助及び交付	9,417	都道	16	02	04	01	051	6,277
3. 用地の状況														
4. 基本計画との関連														
5. 本年度の計画効果														
事業計画 平成19年度中に就農認定委員会・営農検討会を開催し、栽培作物選定及び農業労働力の効率化等を関係者（県農業振興課・農業改良普及所、市農業委員会、鳥取西部農協）と協議し平成20年度の事業計画を策定する。 事業の効果 就農計画の認定を受けようとする青年等は現在、農業研修を経て就農開始を平成20年度の早期と設定し準備を進めている。栽培作物は、ネギを主とした野菜をはじめ水稻等を予定している。本事業は平成19年度が最終年度とされていたが、各方面からの強い要望があったため、県は事業名・内容等を変更して補助を継続することとしている。 本市としても、新規就農者が就農初期に必要な機械・施設の整備を行うことに対して補助金を交付することにより補助事業者の経営の安定を図る。					6. 財源の説明 財源内訳 県補助金（就農基盤整備事業費補助金） 総事業費 18,834,000円 補助金額 6,277,000円 他市の状況 新規就農者（認定就農者）の補助事業として各市が実施している。									
目的別 性質別														

歳出予算事業概要書

款	06 農林水産業費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	2501000000					
項	01 農業費							所属課名	農林課					
目	03 農業振興費	5,011	4,314	2,975	2,450	0	0	内線番号						
大事業	086 チャレンジプラン支援事業(園芸作物)							実施 計 画	部	活力みなぎる米子	実施計画計上額			
中事業	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『産業』がいきいき				
小事業	00		0	1,633	0	0	817		節	地域の活力を生み出す産業のまちづ				
細事業	0								細節	活力ある農業・農村づくり		0		
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳						
事業の概要 意欲ある農業者等が作成した特色ある営農プランの目標達成支援を行うことにより、 元気のある農業者等を育成し、地域農業の振興及び活性化を図る。 事業実施主体 市内に住所を有し、鳥取県チャレンジプラン実施要領に基づきプランの認定を受けた 農業者、農業者団体など 事業効果 プランを実現するために実施する施設・機械整備等により、生産の安定化・生産性の 向上が見込まれ、野菜・特産物の産地として更なる発展につながる。					区分		金額	財源	款	項	目	節	金額	
2. 根拠法令 チャレンジプラン支援事業実施要領、チャレンジプラン支援事業費補助金交付要綱					19	負担金補助及び交付	2,450	都道	16	02	04	01	063	1,633
3. 用地の状況					チャレンジプラン支援事業費補助金									
4. 基本計画との関連														
5. 本年度の計画効果 (1) 事業計画 プラン名：土づくりによる干拓営農経営安定プラン 対象品目：葉たばこ・人参 葉たばこ管理作業車 1台 プラン名：未定 対象品目：人参 収穫機(中古) 1台 播種機 1台 プラン名：未定 対象品目：白ねぎ トラクター 1台 プラン名：未定 対象品目：白ねぎ・甘藷 土壌消毒機 1台					6. 財源の説明 (1) 財源の説明 事業費 1,050,000円 補助金 1,050,000円 × 1/2 = 525,000円 (県：350,000円 市：175,000円) 事業費 850,000円 補助金 850,000円 × 1/2 = 425,000円 (県：283,000円 市：142,000円) 事業費 3,000,000円 補助金 3,000,000円 × 1/2 = 1,500,000円 (県：1,000,000円 市：500,000円) 事業費 1,050,000円 補助金 1,050,000円 × 1/2 = 525,000円 (県：350,000円 市：175,000円) 補助金合計 2,975,000円 (県：1,983,000円 市：992,000円) (2) 他市の状況 プランを策定し、県の認定を受けた市町村で実施されている。									
目的別 性質別														

歳出予算事業概要書

款	06 農林水産業費	前年度	前年度	各課	調整結果額			所属課コード	2501000000					
項	01 農業費	当初予算	現計予算	要求額	うち復活額	一般財源	所属課名	農林課						
目	03 農業振興費	0	0	11,649	7,149	0	内線番号							
大	087 チャレンジプラン支援事業(水田利用)	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施	部	活力みなぎる米子	実施計画計上額			
中	00							章	『産業』がいきいき					
小	00							節	地域の活力を生み出す産業のまちづ					
細	0							細節	活力ある農業・農村づくり					
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳						
(1) 事業概要 本市水田農業の維持、拡大を実現するために、事業者自身が作成した営農プランに基づき共同利用設備、営農用機械整備等を行う。					区分	金額	財源	款	項	目	節	金額		
(2) 事業効果 農業後継者不足による遊休農地の拡大を防ぎ、意欲ある農業者等が利用集積を行うことで大規模化を促進し、新しい農業事業展開を行うことで、担い手農家、団体の育成と地域特産物の産地化、水田利用型農業の更なる展開が期待できる。					19	負担金補助及び交付	7,149	都道	16	02	04	01	063	4,766
(3) 事業実施主体 市内に住所を有し、鳥取県チャレンジプラン実施要領に基づきプランの認定を受けた農業者、農業者団体など。					チャレンジプラン支援事業費補助金									
2. 根拠法令 チャレンジプラン支援事業実施要領、チャレンジプラン支援事業費補助金交付要綱														
3. 用地の状況														
4. 基本計画との関連														
5. 本年度の計画効果														
(1) 事業計画 プラン認定による営農用機械の導入(補助率1/2) トラクター1台 ハロ-1台 ロータリー1台 モア1台 事業費6,008千円 補助金3,004千円=2,002千円(県費1/3)+1,002千円(市費1/6) 乗用田植え機1台 事業費2,600千円 補助金1,300千円=866千円(県費1/3)+434千円(市費1/6) 乗用田植え機1台 トラクター1台 事業費5,690千円 補助金2,845千円=1,896千円(県費1/3)+949千円(市費1/6) 堆肥生産設備一式 事業費9,000千円 補助金4,500千円=3,000千円(県費1/3)+1,500千円(市費1/6)					6. 財源の説明 (1) 財源の説明 事業実施に係る経費のうち、県が3分の1、市が6分の1を負担する。 (2) 他市の状況 チャレンジプランを策定し、県の認定を受けた農業者のいる市町村で実施されている。									
目的別 性質別														

歳出予算事業概要書

款	06 農林水産業費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	2501000000				
項	01 農業費							所属課名	農林課				
目	03 農業振興費	2,709	4,576	2,867	2,867	0	0	内線番号					
大事業	108 担い手規模拡大促進事業							実施 計 画	部	活力みなぎる米子	実施計画計上額		
中事業	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『産業』がいきいき			
小事業	00		0	0	0	0	2,867		節	地域の活力を生み出す産業のまちづ		0	
細事業	0		0	0	0	0	2,867		細節	活力ある農業・農村づくり		0	
1. 事業の概要と必要性					節		本年度の財源内訳						
事業の概要 地域農業の活性化と将来地域の担い手となりうる認定農業者等を育成することを目的に農地の利用集積と遊休農地の解消を図った農業者及び団体に対して助成する。 農業経営の安定を図る。					区分		金額	財源	款	項	目	節	金額
事業の必要性 農業経営の高齢化・後継者不足等により農業労働力は年々減少する一方である。そこで農業経営の拡大を目指す認定農業者等を助成することにより、耕作放棄地の解消につながる事が期待できる。 鳥取県市町村交付金化対象事業(平成18~)					19	負担金補助及び交付	2,867						
2. 根拠法令 米子市担い手規模拡大促進事業費補助金交付要綱													
3. 用地の状況													
4. 基本計画との関連													
5. 本年度の計画効果													
事業計画 認定農業者の推移 H19年度 11月現在80人 目標101人 専業農家で意欲ある認定農業者を育成し、兼業農家の農業離れから発生する農地を集積し農業経営耕地面積を拡大する。 利用権設定による農地賃借料を 8,000円/10a、遊休農地の場合 24,000/10a円を助成する。													
補助対象経費 通常農地 3,325a × 800円 = 2,660,000円 遊休農地 86a × 2,400円 = 206,400円 計 2,866,400円													
事業効果 農地の流動化と安定的な農業経営体の育成と耕作放棄地の解消につながる。													
目的別 性質別					6. 財源の説明 (1) 他市の状況 県内市町村において、事業実施予定である。								

歳出予算事業概要書

款	06 農林水産業費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	2501000000					
項	01 農業費							所属課名	農林課					
目	04 農地費	67,100	55,526	54,900	41,900	0	0	内線番号						
大事業	001 単市土地改良事業							実施 計 画	部	活力みなぎる米子	実施計画計上額			
中事業	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『産業』がいきいき				
小事業	00		0	0	18,700	1,050	22,150		節	地域の活力を生み出す産業のまちづ		0		
細事業	0								細節	活力ある農業・農村づくり				
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳						
事業の概要 ・農業生産基盤整備の一環として土地改良施設（農道、用排水路、水利施設等）の整備を行う。 ・土地改良施設等を適正に維持管理するために破損箇所の補修等を行う。					区分		金額	財源	款	項	目	節	金額	
事業の効果 農業生産基盤の整備により農地の高度利用及び安定した農業経営が図られる。また、施設の維持管理により、良好な営農環境及び市民の生活環境を確保する。					13	委託料	0	分担	13	01	01	01	001	1,050
					15	工事請負費	38,000							
					16	原材料費	1,600	地方	22	01	03	01	001	18,700
					17	公有財産購入費	1,000							
					22	補償補填及び賠償金	1,300							
2. 根拠法令														
3. 用地の状況														
4. 基本計画との関連														
5. 本年度の計画効果					6. 財源の説明									
事業の計画 土地改良施設整備 かんがい排水路整備（用排水路改修等）、農林道整備（農道改良等）、水利施設整備（樋門改修等）、ため池整備、暗きょ排水施設整備、農道舗装 土地改良施設等維持管理 事業の効果 土地改良施設整備による受益面積60ha 土地改良施設等維持管理による米子市全域の施設の適正な管理					財源内訳の積算基礎 地方債 農林道整備、農道舗装の事業費のうち分担金を除いた額に対する100%。 分担金 米子市土地改良事業等分担金徴収条例に基づき徴収する。									
目的別 性質別					他市の状況、合併協定項目等 他市においても同様の事業は行われている。									

歳出予算事業概要書

款	06 農林水産業費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	2501000000					
項	01 農業費							所属課名	農林課					
目	04 農地費	49,615	50,100	61,574	59,048	0	0	内線番号						
大事業	052 新農業水利システム保全対策事業							実施 計画 画	部	活力みなぎる米子	実施計画計上額			
中事業	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『産業』がいきいき				
小事業	00		0	24,332	0	5,008	29,708		節	地域の活力を生み出す産業のまちづ	0			
細事業	0								細節	活力ある農業・農村づくり				
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳						
事業の概要 農業用水利施設は農地利用の集積化に伴い、農業の担い手に施設管理が集中・増大するため、管理の省力化、畑地化及び畑作の本作化のための農業水利施設の整備を行う。 ・箕蚊屋地区 水路改修 4箇所、樋門改修 3基 ・佐陀川右岸地区 水路改修 2 6箇所、樋門改修 3基 ・南部地区 水路改修 2 6箇所、樋門改修 2基 ・淀江宇田川地区 水路改修 2 6箇所、樋門改修 5基 事業効果 農地の集積化の促進を制約する要因を除去し、担い手育成のための合理的な水利用と施設管理の省力化等を実現する。					区分		金額	財源	款	項	目	節	金額	
2. 根拠法令					11	需用費	360	分担	13	01	01	01	001	5,008
3. 用地の状況					12	役務費	50							
4. 基本計画との関連					13	委託料	7,280	都道	16	02	04	01	028	24,332
5. 本年度の計画効果					15	工事請負費	40,974							
かんがい排水 ・水路改修工事 佐陀川右岸地区 : 8箇所 米子南部地区 : 4箇所 淀江宇田川地区 : 8箇所 箕蚊屋地区 : 2箇所 ・測量設計 一式 水利施設 ・樋門改修工事 佐陀川右岸地区 : 1箇所 淀江宇田川地区 : 1箇所 ・測量設計 一式					19	負担金補助及び交付	10,384							
6. 財源の説明					(1) 財源内訳 かんがい排水 国：50% 米子市(一般財源)：40% 地元：10% 水利施設 国：50% 米子市(一般財源)：35% 地元：15% 箕蚊屋地区においては、箕蚊屋土地改良区が事業主体となるため、当該改良区に対して補助金を支出する。なお、受益地が米子市、伯耆町、日吉津村にまたがる工事個所に係る補助金額は受益面積割合に応じて負担する。 米子市の受益面積割合：69.5% (2) 他市の状況 全国的に当事業は実施されている。									
目的別														
性質別														

歳出予算事業概要書

款 項 目	06 03 02	農林水産業費 水産業費 水産業振興費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード	2505000000				
						うち復活額	一般財源				所属課名	水産振興室		
大 中 小 細 事業	005 00 00 0	魚礁設置事業	3,700	3,700	3,700	3,700	0	0	内線番号	実施 計 画			部 章 節 細 節	活力みなぎる米子 『産業』がいいき 地域の活力を生み出す産業のまちづ 漁業経営の安定化と効率化
財源内訳	0	0									0	0		
1. 事業の概要と必要性						節			本年度の財源内訳					
(1) 事業の概要						区分		金額	財源	款	項	目	節	金額
米子市漁業協同組合が実施する人工魚礁の設置に係る費用を助成することにより、魚にとって餌場、逃避場所、産卵場所等の良好な漁場を造成することができ、漁獲の増大、漁場への所要時間など操業時間の短縮等が図られ、もって海面漁業を振興する。						19 負担金補助及び交付		3,700						
2. 根拠法令														
3. 用地の状況														
4. 基本計画との関連														
5. 本年度の計画効果						6. 財源の説明								
(1) 事業計画						本市単独事業のため一般財源を充当								
補助事業者 米子市漁業協同組合						事務事業評価の反映状況・・・現状維持								
事業計画 皆生沖合いに岩石魚礁を設置する														
海面漁業の振興が図られる														
目的別 性質別														

歳出予算事業概要書

款 項 目	06 03 02	農林水産業費 水産業費 水産業振興費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード	2505000000
						うち復活額	一般財源			
大 中 小 細事業	015 00 00 0	淡水魚育成放流事業	3,000	3,000	3,000	3,000	0	0	内線番号	
		財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施計画		
			0	0	0	0	3,000	部	活力みなぎる米子	実施計画計上額
							本年度の財源内訳			
				区分		金額		財源 款 項 目 節 細節		
				19 負担金補助及び交付		3,000				
<p>1. 事業の概要と必要性</p> <p>(1) 事業の概要 日野川水系漁業協同組合が実施している淡水魚稚魚の放流事業に係る経費を助成することにより内水面漁業生産の安定化及び増大に寄与し、もって内水面漁業を振興する。</p> <p>(2) 事業効果 流量及び流水面積の減少により淡水魚の生育(自然)環境が悪化していることから内水面漁業の現状は、稚魚の育成放流に依存しなくてはならない状況である。放流事業と併せ、産卵場の整備造成、資源増殖環境の整備も行うことにより、内水面漁業の振興が図られる。</p>										
2. 根拠法令										
3. 用地の状況										
4. 基本計画との関連										
<p>5. 本年度の計画効果</p> <p>(1) 事業計画 日野川水系への放流事業 鮎、いわな、あまご、やまめ、鮭、うなぎ 内水面漁業の振興が図られる</p>										
<p>6. 財源の説明 本市単独事業のため一般財源を充当 事務事業評価の反映状況・・・現状維持</p>										
目的別 性質別										

歳出予算事業概要書

款	06 農林水産業費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	2505000000			
項	03 水産業費							所属課名	水産振興室			
目	02 水産業振興費	7,600	7,600	7,600	7,600	0	0	内線番号				
大	016 淡水魚試験研究育成事業							実施 計 画	部	活力みなぎる米子	実施計画計上額	
中	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『産業』がいきいき		
小	00		0	0	0	0	7,600		節	地域の活力を生み出す産業のまちづ		0
細	0		0	0	0	0	7,600		細節	漁業経営の安定化と効率化		0
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳				
(1) 事業の概要					区分	金額	財源	款	項目	節	金額	
日野川水系漁業協同組合が本市淡水魚試験研究育成施設で実施している淡水魚の種苗生産・増殖及び試験研究に係る経費を助成することにより、淡水魚の種苗生産の安定化及び増大に寄与し、内水面漁業の振興を助長する。					19 負担金補助及び交付	7,600						
(2) 事業効果												
流水量及び流水面積の減少により淡水魚の生育(自然)環境が悪化していることから内水面漁業の現状は、育成放流に依存しなくてはならない状況である。種苗生産を行い育成放流することにより、内水面漁業の振興が図られる。												
2. 根拠法令												
3. 用地の状況												
4. 基本計画との関連												
5. 本年度の計画効果					6. 財源の説明							
(1) 事業計画					本市単独事業のため一般財源を充当							
種苗生産 鮎、鮭					事務事業評価の反映状況・・・現状維持							
内水面漁業の振興が図られる												
目的別 性質別												

歳出予算事業概要書

款 項 目	06 03 02	農林水産業費 水産業費 水産業振興費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード 2505000000	所属課名 水産振興室	内線番号				
						うち復活額	一般財源								
大 事 業	020	水産加工品づくり支援事業	0	0	720	720	0	0	実施 計 画	部	活力みなぎる米子	実施計画計上額			
中 事 業	00		財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『産業』がいきいき				
小 事 業	00			0	480	0	0	240		節	地域の活力を生み出す産業のまちづ				
細 事 業	0			0		0				細節	漁業経営の安定化と効率化		0		
1. 事業の概要と必要性 日野川水系漁業協同組合が事業主体となって、人工種苗生産用に採卵した鮎を甘露煮等に加工し商品化するため、試験研究事業を実施する。						節			本年度の財源内訳						
						区分	金額	財源	款	項	目	節	細節	金額	
						19	負担金補助及び交付	720	都道	16	02	04	03	011	480
						水産加工品づくり支援事業費補助金									
2. 根拠法令 とっとり水産業加工品づくり支援事業費補助金交付要綱															
3. 用地の状況															
4. 基本計画との関連															
5. 本年度の計画効果 先進地の取り組み等を研究。 試作品の製造															
6. 財源の説明 事業費 1,440,000円 県補助金 補助対象事業費の1/2対し、補助率2/3を補助するもの 1,440,000円 × 1/2 × 2/3 = 480,000円															
目的別 性質別															

歳出予算事業概要書

款	06	農林水産業費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	2505000000					
項	03	水産業費							所属課名	水産振興室					
目	02	水産業振興費	0	0	2,000	1,275	0	0	内線番号						
大	021	地域養殖業振興事業							実施 計 画	部	活力みなぎる米子	実施計画計上額			
中	00		財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『産業』がいきいき				
小	00			0	850	0	0	425		節	地域の活力を生み出す産業のまちづ		0		
細	0									細節	漁業経営の安定化と効率化				
1. 事業の概要と必要性 米子市漁協が実施主体となり陸上養殖施設を活用し、カサゴの試験養殖を実施する。魚価の低迷、燃料費の高騰等、漁業経営が困難を増す今日、安定的な収益を確保するため、県の助成も得て実施するもの。 淡水産マシジミの試験養殖 淡水産のマシジミの試験養殖を実施し、商品化特産化を図る一助としたい。						節		本年度の財源内訳							
						区分	金額	財源	款	項	目	節	金額		
						19	負担金補助及び交付	1,275	都道	16	02	04	03	012	850
						地域養殖振興事業費補助金									
2. 根拠法令 地域養殖業振興事業実施要領															
3. 用地の状況															
4. 基本計画との関連															
5. 本年度の計画効果 養殖池の整備及びカサゴの稚魚購入並びに試験養殖 マシジミの稚魚購入及び試験養殖															
						6. 財源の説明 事業費 1,000,000円(上限) 補助金額 事業費×補助率 1/2 補助金の内訳 2/3 県補助金、1/3 市町村補助金 上記と同じ									
目的別 性質別															

歳出予算事業概要書

款	06 農林水産業費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	2505000000		
項	03 水産業費							所属課名	水産振興室		
目	03 漁港管理費	18,000	24,266	18,000	14,400	0	0	内線番号			
大 事業	002 航路浚渫事業	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 計画 細 節	部	活力みなぎる米子	実施計画計上額
中 事業	00								章	『産業』がいきいき	
小 事業	00								節	地域の活力を生み出す産業のまちづ	
細 事業	0								節	漁業経営の安定化と効率化	
								本年度の財源内訳			
								区分		金額	
1. 事業の概要と必要性 事業の概要 漁港開口部及び港内航路部の水深を確保するため必要に応じて維持浚渫を実施する。 事業の必要性 皆生漁港は美保湾に注ぐ堀川河口を利用されていた船溜りを漁港として整備しており、漁港開口部及び港内航路部の水深が浅く、美保湾沿岸部の特徴である海岸部の漂砂が著しく開口部へ堆積するため、漁船の航行に必要な2.5m～3.0mの水深を確保するため維持浚渫を実施する必要がある。								15	工事請負費	14,400	
2. 根拠法令											
3. 用地の状況											
4. 基本計画との関連											
5. 本年度の計画効果 事業計画 漁港の航路内に堆積した漂砂を浚渫し、漁船航行の安全性確保を図る。 事業効果 漁船航行に必要な水深を確保することで、漁船航行時の安全確保と漂砂堆積による出漁不能日数の減少を図ることができ、漁業活動、漁家経営に資することができる。											
6. 財源の説明 漁港の維持管理経費であり一般財源を充当 事務事業反映状況・・・現状維持											
目的別 性質別											

歳出予算事業概要書

款	06 農林水産業費	前年度	前年度	各課	調整結果額		所属課コード	2505000000					
項	03 水産業費	当初予算	現計予算	要求額	うち復活額	一般財源	所属課名	水産振興室					
目	04 漁港建設費	220,000	220,000	130,000	130,000	0	内線番号						
大	001 皆生漁港整備事業	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実	部	活力みなぎる米子	実施計画計上額		
中	00							章	『産業』がいきいき				
小	00							節	地域の活力を生み出す産業のまちづ				
細	0							細節	漁業経営の安定化と効率化				
					65,000	65,000	0	0	0				
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳					
事業概要 水産物の生産流通機能の増大を図り、水産物の安定供給と漁業地域の活性化を目的として国に事業採択を受けた事業により年次的に漁港整備を行う。					区分	金額	財源	款	項目	節	金額		
事業の必要性 皆生漁港は昭和59年に漁港指定を受けて以来、年次的に防波堤、係留施設等の整備を行ってきた。現在、係留施設整備、港内静穏度の確保については、一定の成果を見ているが、漁港開口部における入出港時の波浪、漂砂への対策が急務となっている。については、航路の維持浚渫費用の縮減、漁業活動の促進等、漁家経営の安定化を図るためにも事業継続が必要である。					2	給料	都道	16	02	04	03	004	65,000
2. 根拠法令 漁港漁場整備法等 関係法令					4	共済費							
3. 用地の状況					7	賃金	地方	22	01	03	03	001	65,000
4. 基本計画との関連					9	旅費							
5. 本年度の計画効果					11	需用費							
計画 北防波堤上部工 工事費 124,600千円 測量及び試験費 2,116千円 事務費 3,284千円					12	役務費							
効果 漁業活動の安全性確保、操業性・利便性の向上と共に航路浚渫費用の縮減を図る施設整備を行うことにより、生産性の増加、漁家経営の安定化が図られる。					13	委託料							
					14	使用料及び賃借料							
					15	工事請負費							
					18	備品購入費							
					19	負担金補助及び交付							
					27	公課費							
					6. 財源の説明								
					1 財源内訳								
					県補助金(補助率1/2) 65,000千円								
					地方債 65,000千円								
					2 事務事業評価の反映状況								
					評価結果・・・効率化・改善								
					北防波堤工事の完了予定である平成20年度に西防波堤の整備について費用対効果等について十分な検証し、再検討を行うため、調査経費を計上								
目的別													
性質別													